

年 月 日

近隣住民の皆様

住 所 東京都大田区蒲田五丁目 13 番 14 号

建築主 氏 名 大田区長 鈴木晶雅

電話 03-5744-1111（代表）

（法人にあつては、その事務所の所在地、名称、代表者の氏名）

建築計画概要説明書

下記のとおり建築物を計画いたしましたので、大田区中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例第6条の規定により建築計画の概要をお知らせいたします。

なお、本計画の担当者は次の者ですので、わからないことがございましたらお問い合わせください。

（法人にあつては、その事務所の所在地、名称、職氏名）

住 所 東京都大田区蒲田五丁目 37 番 1 号

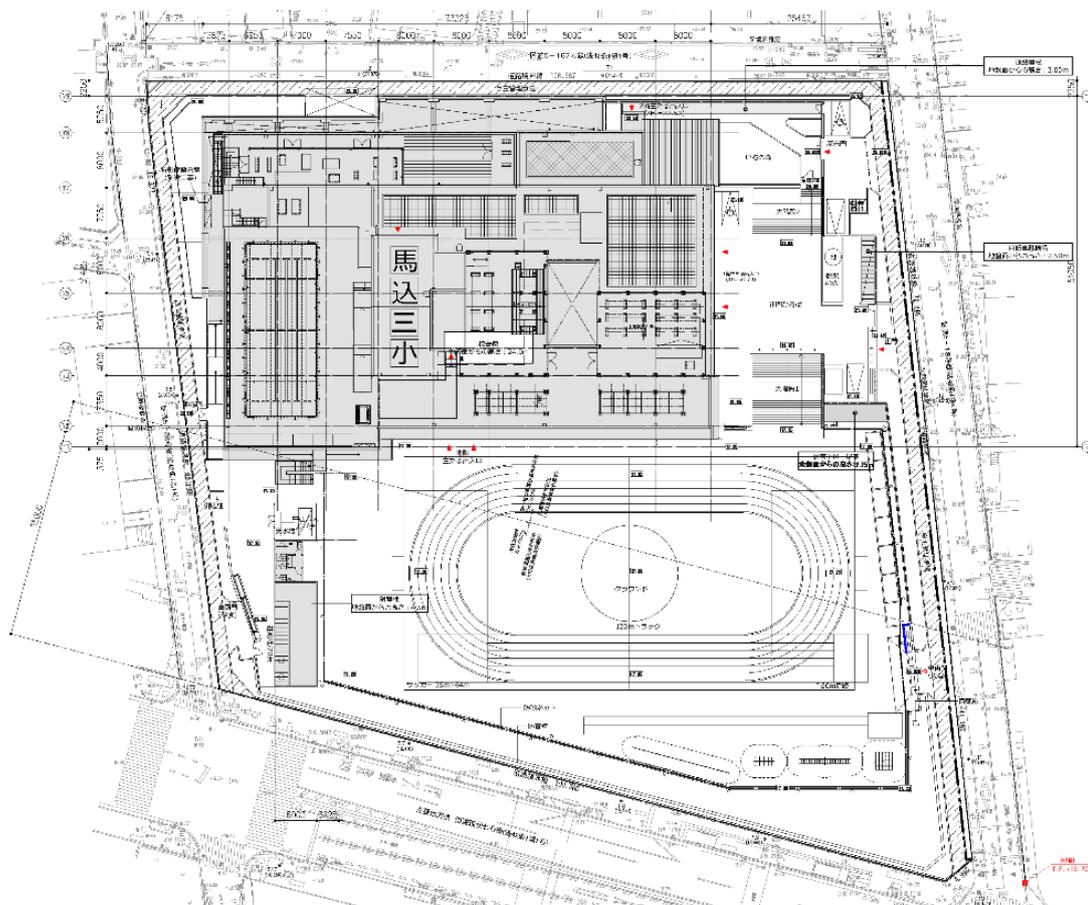
氏 名 大田区教育委員会 教育総務部 教育総務課 施設担当 原田・高橋

電 話 03（5744）番 1399 内線（ ）

記

1	建築物の名称	大田区立馬込第三小学校			
2	設計者住所・氏名	東京都千代田区内神田3丁目11番7号 株式会社 日立建設設計 木村洋一			
3	施工者住所・氏名	未定			
4	建築敷地の地名地番	大田区 北馬込一丁目 53 番 1 号（住居表示：28 番 1 号）			
5	主要用途	小学校、児童福祉施設等、近隣住民を対象とした資料館	6 工事種別	新築	
7	計画に係る建築物	(1)高さ	24.9m	(2)階数	地上 5階 地下 1階
		(3)構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	(4)基礎工法	地盤改良+杭基礎
8	工期	令和7年 11月 1日から 令和12年 9月 30日まで			
		計画に係る部分	計画以外の部分	合計	
9	敷地面積			10,884.35 m ²	
10	建築面積	3,312.18 m ²	0.00 m ²	3,312.18 m ²	
11	延べ面積	11,508.55 m ² (校舎棟：11,335.73 m ²) (付属棟：90.80 m ²) (飼育小屋・温室：18.90 m ²) (自転車駐輪場：19.20 m ²) (通路屋根：43.92 m ²)	0.00 m ²	11,508.55 m ²	

1 2 敷地の形態及び敷地内における建築物の位置



1 3 工事による危害の防止策

- ・各工事エリアの外周には仮囲いを設置します。
- ・工事車両の出入り口には交通整理員を配置し、安全管理を行います。
- ・工事中の建物の足場まわりには養生メッシュシート等を適宜設置し、資材の飛散や落下を防ぎます。
- ・掘削工事に於いては事前に山留を行う工法を採用し、周辺地盤への影響を防止します。

1 4 建築に伴って生ずる周辺的生活環境に及ぼす著しい影響及びその対策

- ・建物はシンプルな形状とし、色彩も温かみのある白を基調とすることで周辺建物との調和を図ります。
- ・敷地東・北・西面は歩道拡張及び緑化整備を行ない、周辺環境整備を行います。
- ・環状七号線沿に児童の学習環境を確保するため防音壁を設けますが、壁沿いに緑化を施すとともに、壁の一部をアクリル板として校庭内の緑化を垣間見ることができるようすることで、圧迫感の軽減を図ります。
- ・屋上設備機器周囲には防音壁を設置し、近隣に対する騒音に配慮します。
- ・地域に開放される資料館の周囲に小さな森を設けることで、近隣に親しまれる施設を整備します。

基本設計が完了しました

馬込第三小学校は、校舎の大半が築60年近く経過し、機能更新が必要なため令和元年度より全面改築に着手しました。基本構想・基本計画をもとにした基本設計が完了し、この度、基本設計書を策定しましたのでお知らせいたします。

馬込第三小学校の改築にあたっては、教育環境を向上させることを前提として、教育と地域力の新たな拠点づくりを目指します。今後、基本設計書にまとめた考え方に則り実施設計を行い、順次工事へと進めてまいります。

基本設計における考え方【設計主旨】

■プロジェクトコンセプト

街が、学校を育む

学校のコンセプト

「豊かな空間が馬込の未来を育む」

複合用途と地域利用のコンセプト

「色濃く残る馬込の歴史とふれあう」

「生活の場」

採光・通風による快適な環境づくり

「学びの場」

図書室を中心とした能動的な学びの促進

「継承」

畳コーナーによる茶室文化の継承
いおの森移設による自然の継承

「日常交流」

気軽に利用できる地域集会室により開かれた交流の場

「交流の場」

ループ状の生活動線とたまり場によるコミュニケーションの誘発

「安心・安全」

教員室から見下ろせるグラウンド
ゆとりのあるアプローチ

「イベント」

正門前広場とグラウンドを一体利用することで幅広い活動の場

「利便性」

敷地の高低差を活かした運用しやすい動線計画

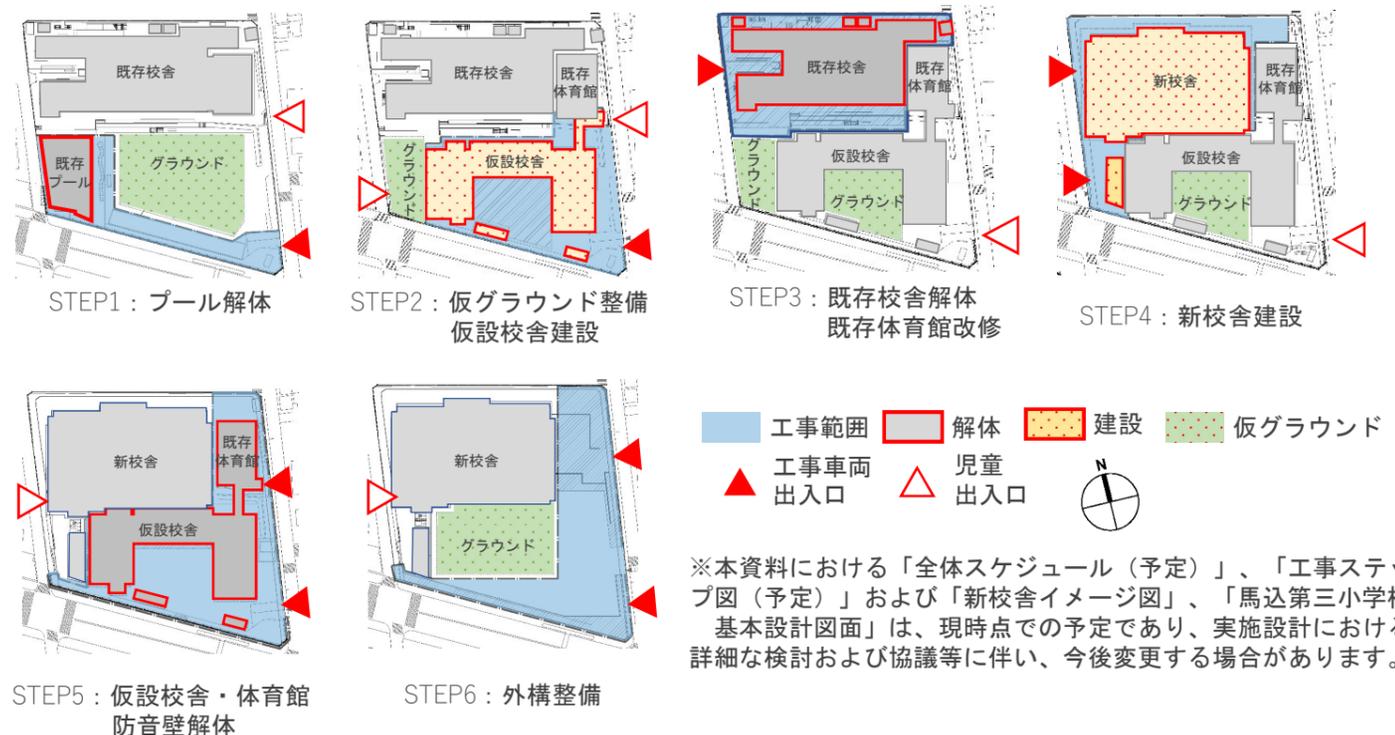
全体スケジュール（予定）

	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)	R12年度 (2030)
工程	基本設計・実施設計								
	STEP1	STEP2	STEP3	STEP4	STEP5	STEP6			
利用条件	既存校舎 既存体育館		仮設校舎		既存体育館		新校舎 新体育館		
		仮グラウンド利用				仮グラウンド利用			
			民間及び他校プール利用						

新校舎イメージ図



工事ステップ図（予定）



※本資料における「全体スケジュール（予定）」、「工事ステップ図（予定）」および「新校舎イメージ図」、「馬込第三小学校基本設計図面」は、現時点での予定であり、実施設計における詳細な検討および協議等に伴い、今後変更する場合があります。

馬込第三小学校 基本設計図面 (令和4年12月時点)

配置計画

北側にすべての校舎を集約するとともに、校舎と校舎間の高低差をなくすことで児童が利用しやすい空間を実現します。

普通教室

日当たりの良い南・東面を中心に、学年ごとにまとまった配置とします。

図書室と中庭

中庭と共に学校の中心に図書室を設けることで、各学年がアクセスしやすい開かれた学びの拠点とします。中庭からの自然光を各階の共用部に届けることで明るい空間とします。

体育館

新体育館横に備蓄倉庫を配置することで、災害時の利便性を高め、避難所機能の向上に繋がります。

プール

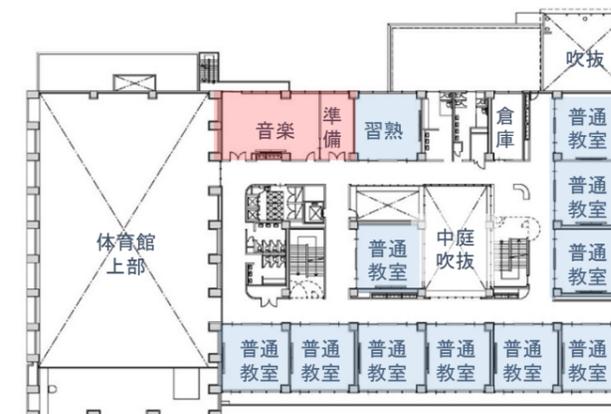
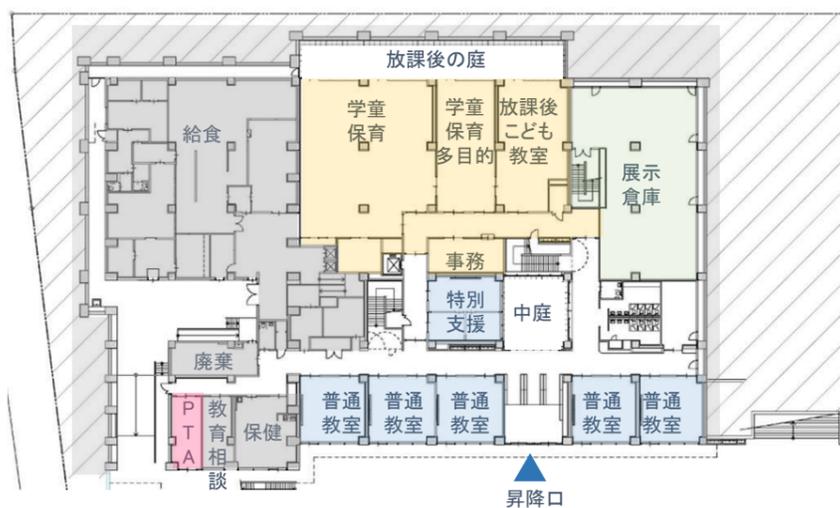
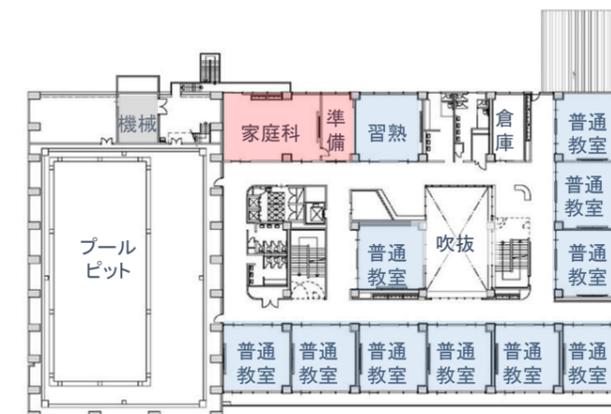
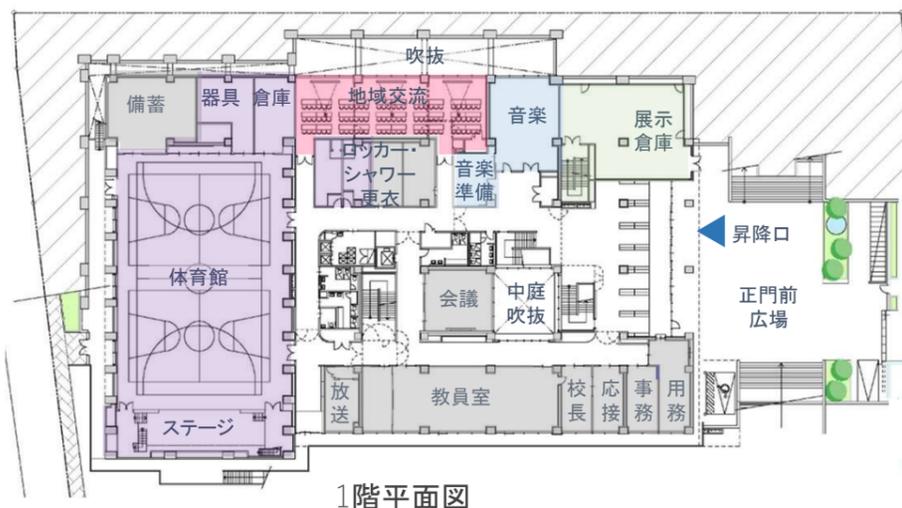
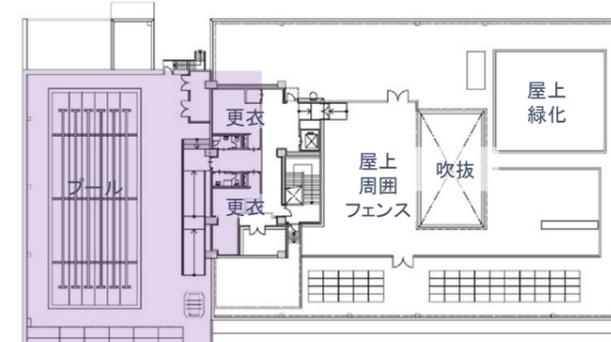
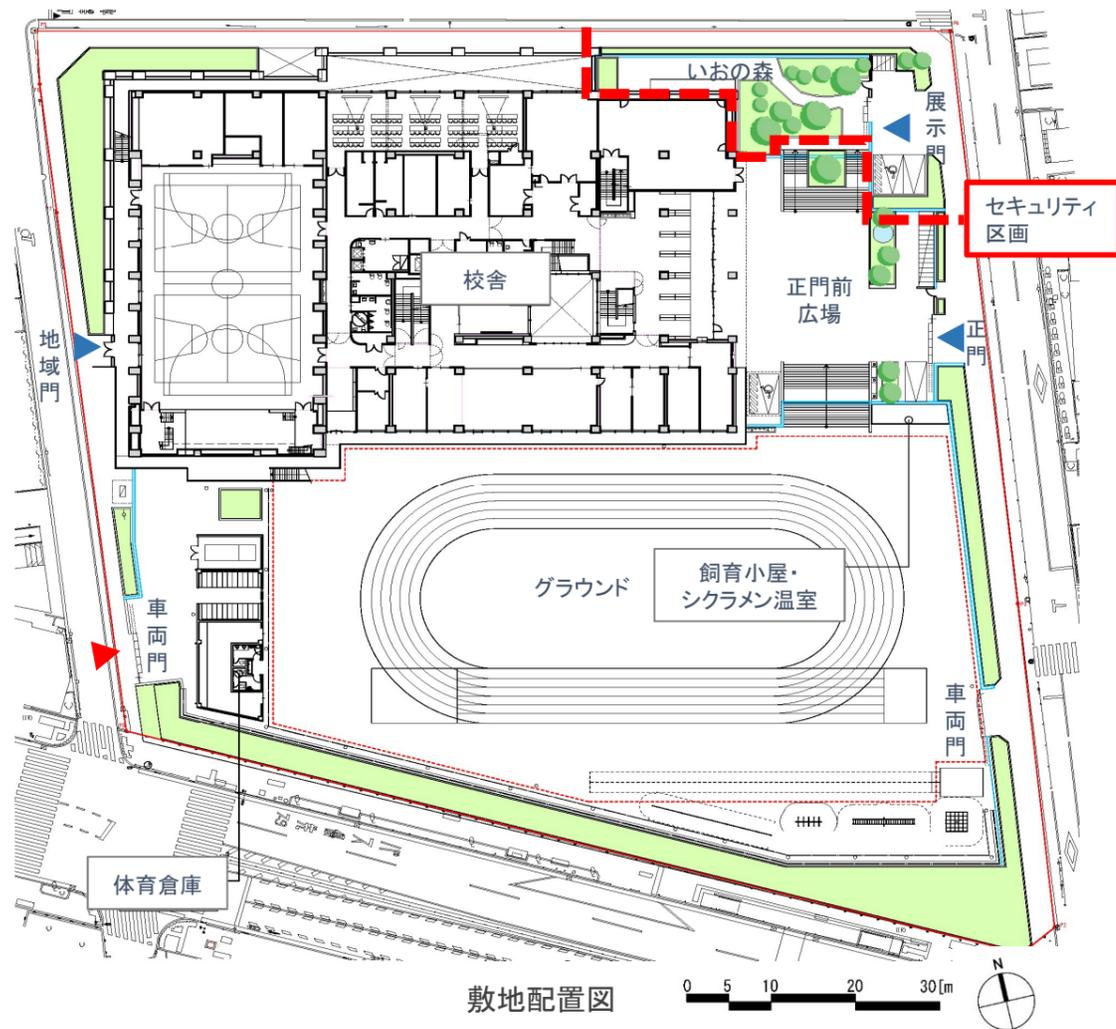
敷地有効活用のため、体育館の上に設置します。熱中症対策として、児童の待機スペースに庇を設置します。周囲との見合いや音に配慮し、目隠し壁で囲う計画としています。

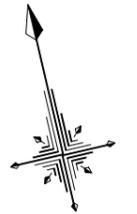
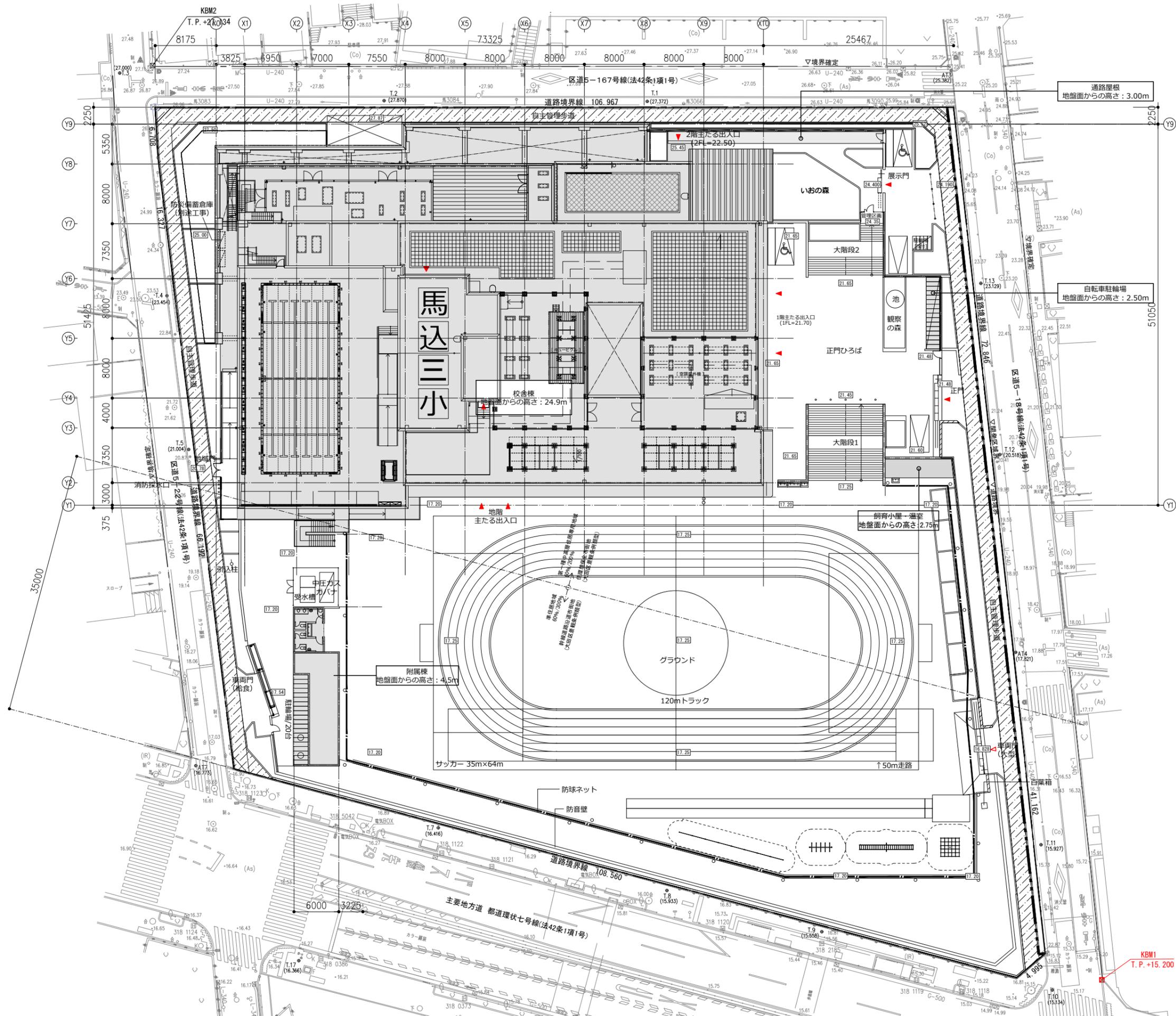
地域集会室

約3教室分の広い地域集会室を配置します。パーティションで仕切ること、大小サイズを変えて使用できる仕様とします。

複合施設

学校施設と明確に分離することで十分なセキュリティを確保し、室生犀星の離れや馬込文士村等の資料に触れることで、馬込地区の歴史の継承を図ります。



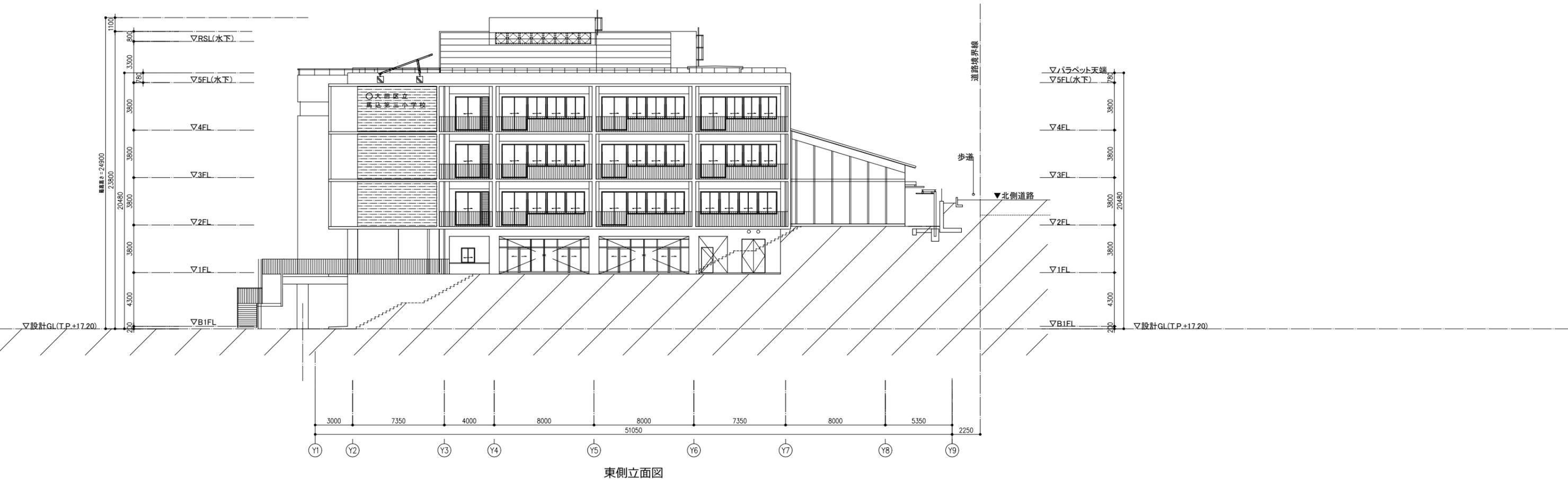


設計GL : T.P. +17.20m
(地盤レベルは全てT.P.表記とする)

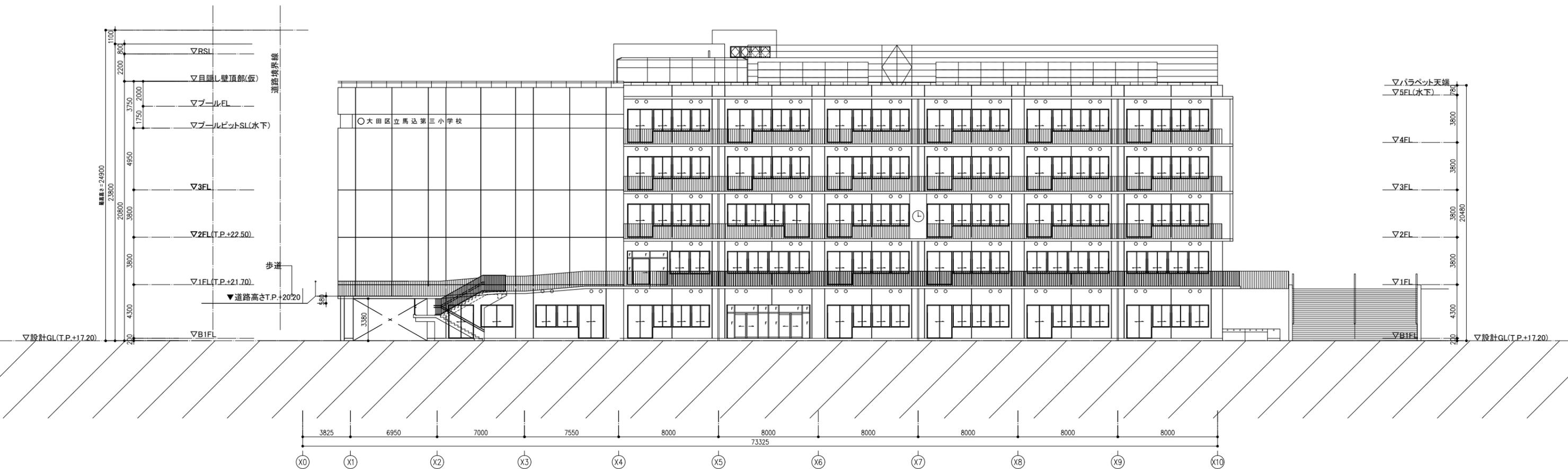
※行政協議及び確認申請等により変更が生じる場合があります。
※工事施工者確定後、協議により変更が生じる場合があります。

大田区立馬込第三小学校
配置図 (最終形)

A3: 1/500

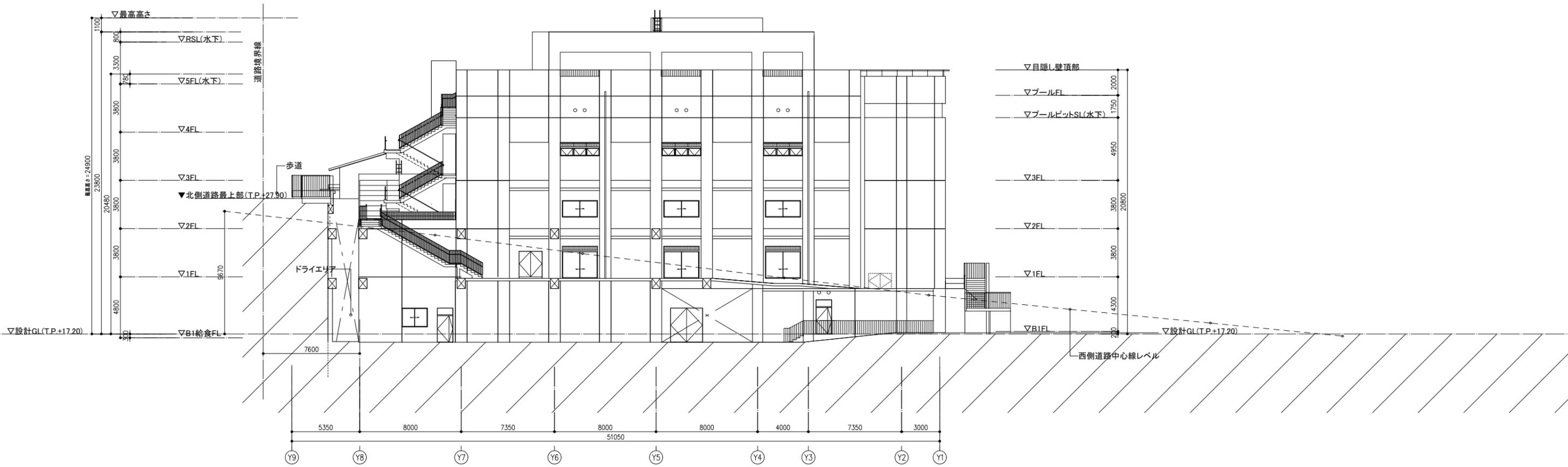


東側立面図

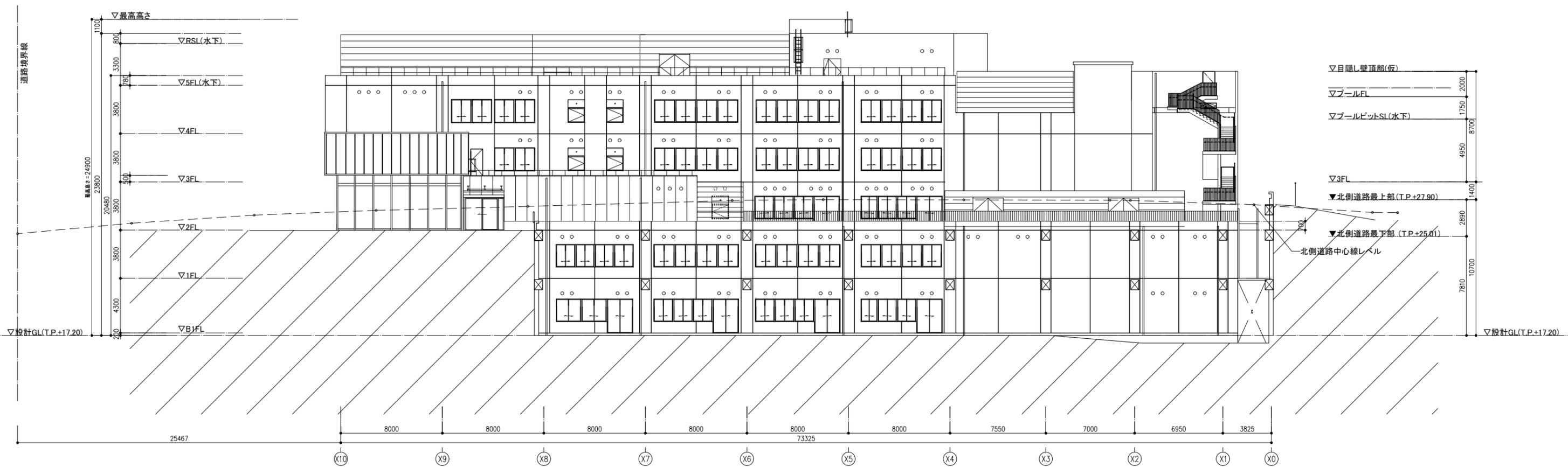


南側立面図

※行政協議及び確認申請等により変更が生じる場合があります。
 ※工事施工者確定後、協議により変更が生じる場合があります。

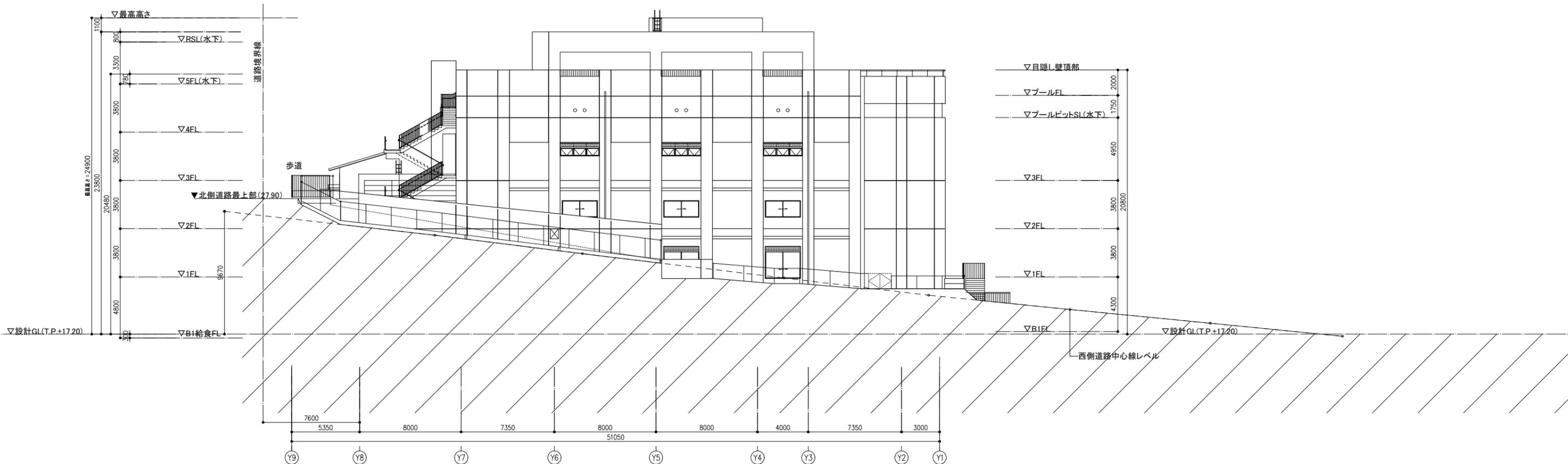


西側立面図(ドライエリアより)

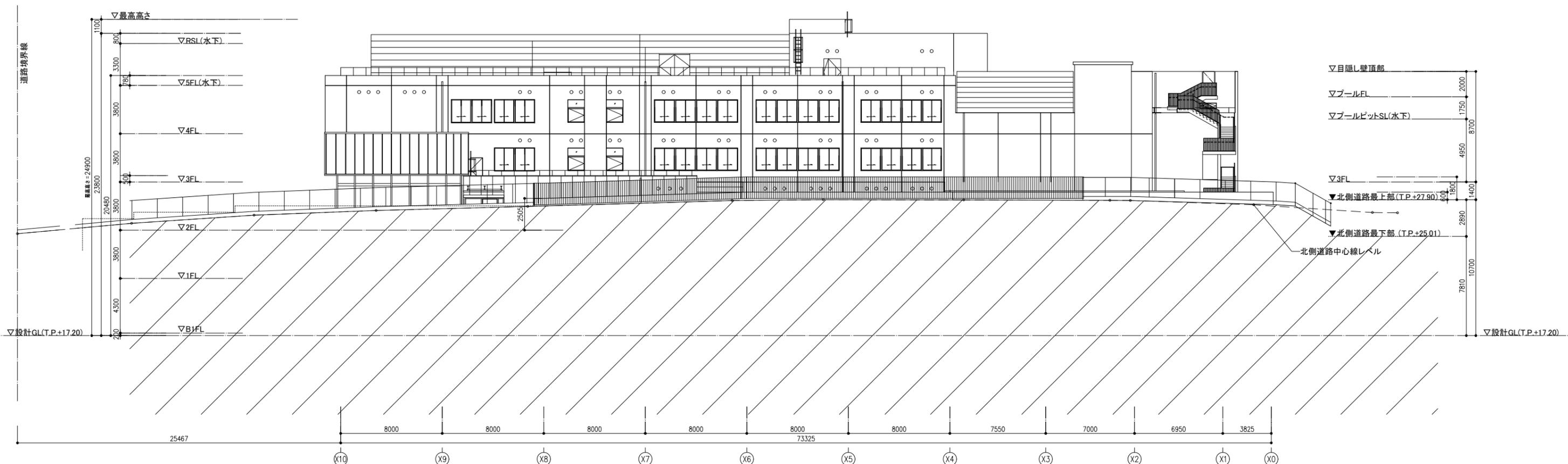


北側立面図(ドライエリアより)

※行政協議及び確認申請等により変更が生じる場合があります。
 ※工事施工者確定後、協議により変更が生じる場合があります。

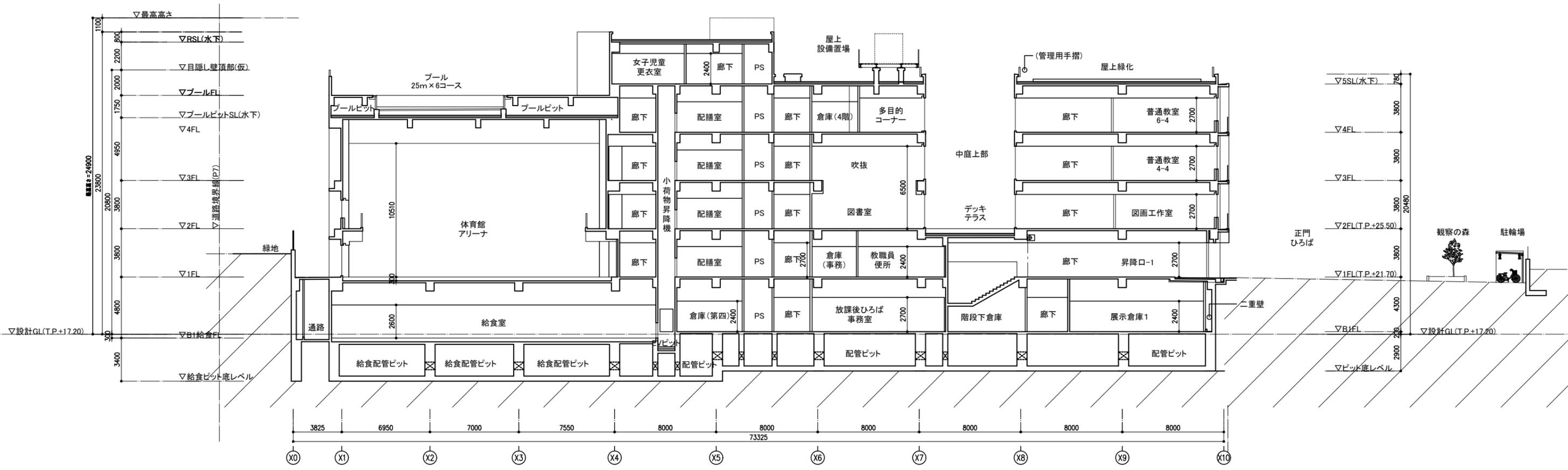


西側立面図(道路面より)

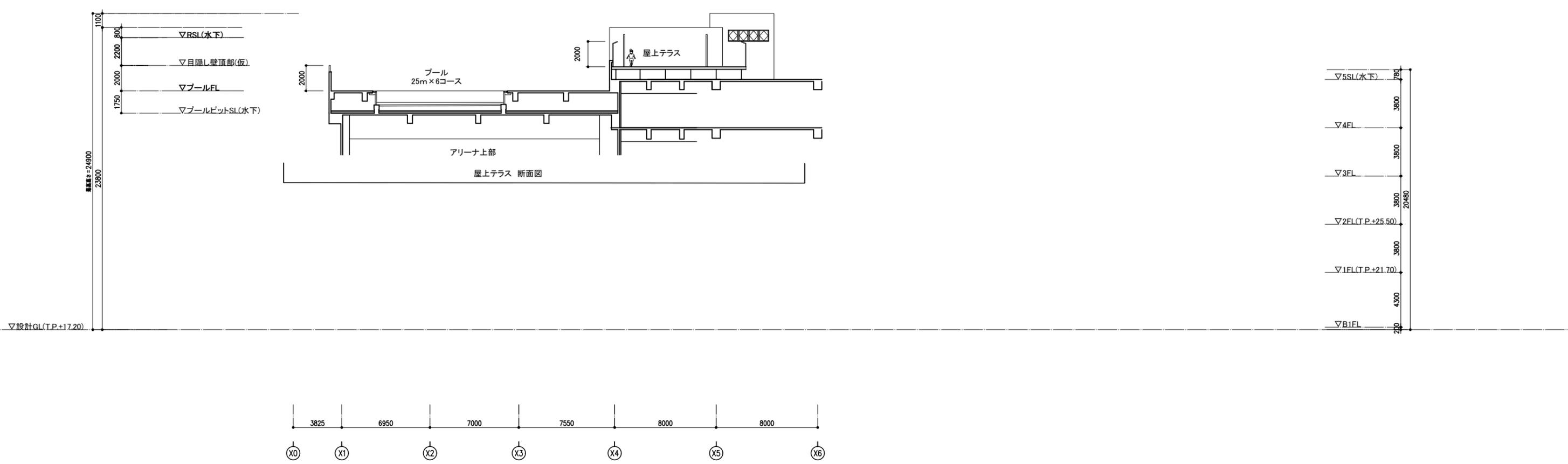


北側立面図(道路面より)

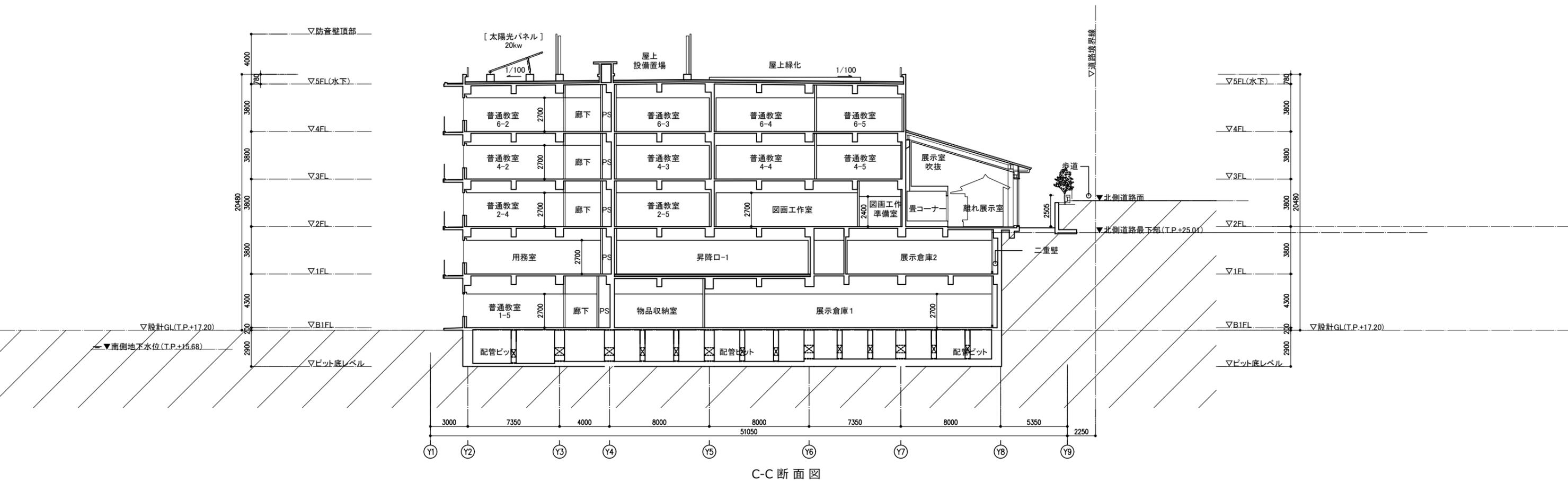
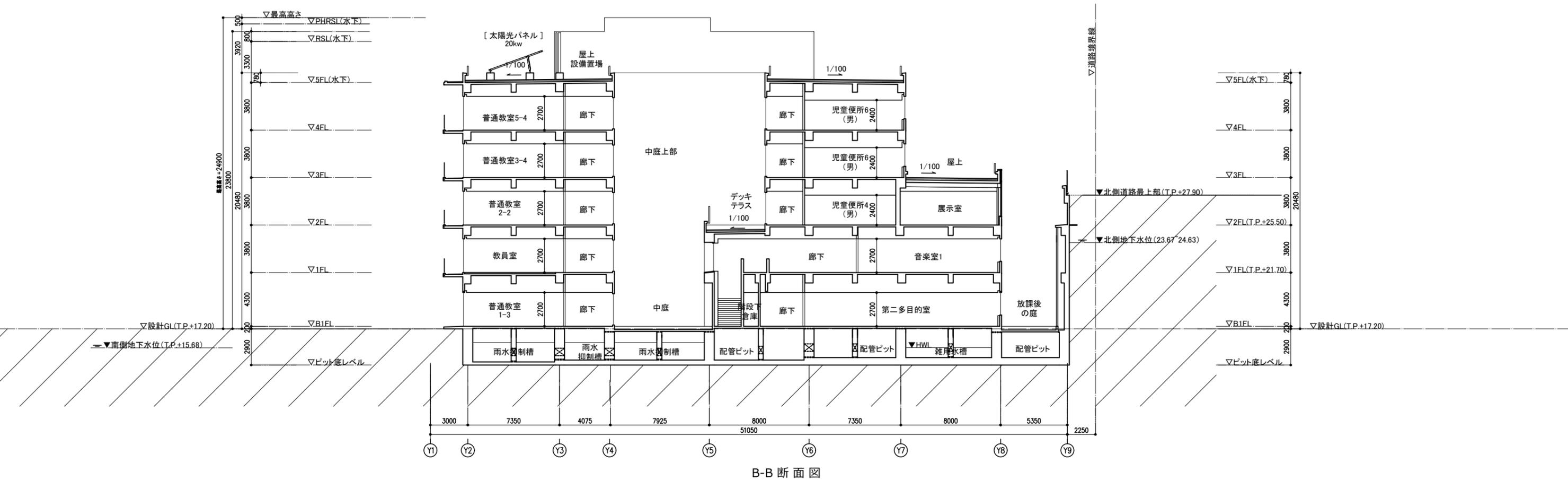
※行政協議及び確認申請等により変更が生じる場合があります。
 ※工事施工者確定後、協議により変更が生じる場合があります。



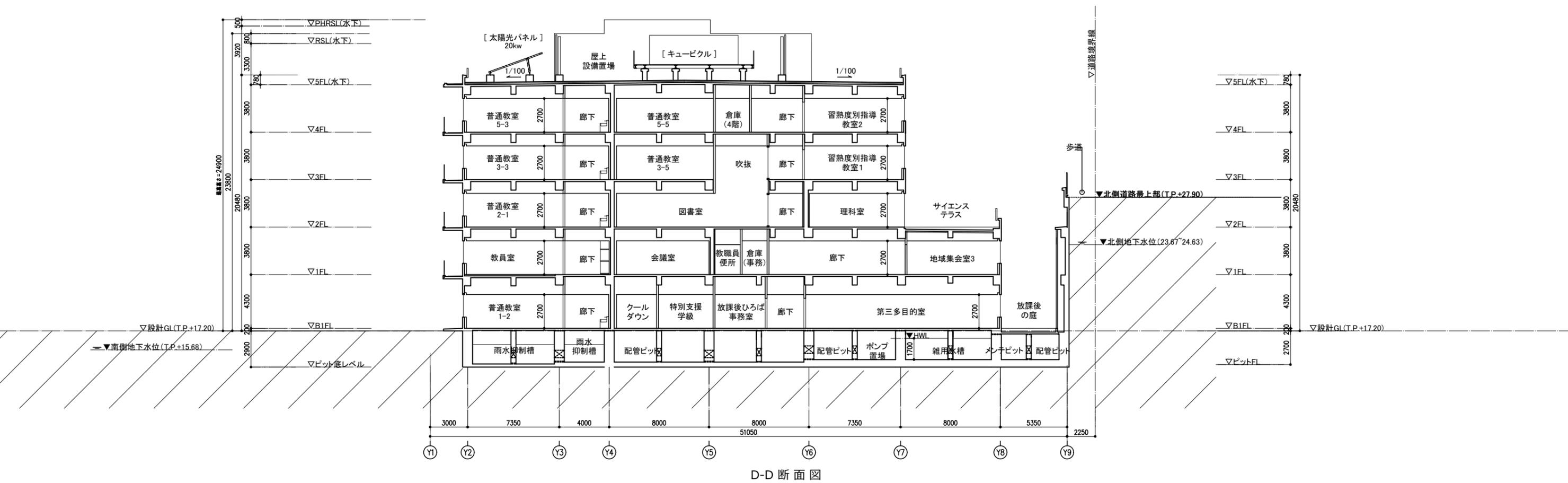
A - A 断面図



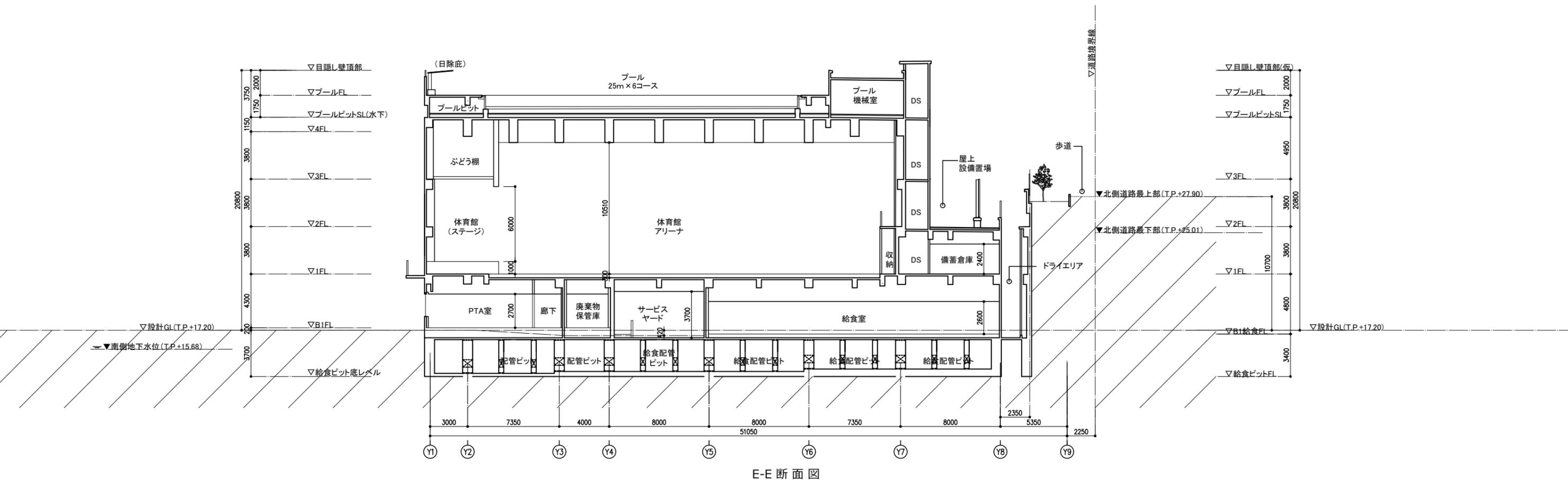
A - A 断面図



※行政協議及び確認申請等により変更が生じる場合があります。
 ※工事施工者確定後、協議により変更が生じる場合があります。



D-D 断面図



E-E 断面図

※行政協議及び確認申請等により変更が生じる場合があります。
 ※工事施工者確定後、協議により変更が生じる場合があります。



※建設中
2025年3月完成予定

道路境界線

計画建物-5
通路屋根
計画地盤高さ:T.P.+25.45m
地盤からの最高高さ:3.00m

計画建物-4
駐輪場
計画地盤高さ:T.P.+21.50m
地盤からの最高高さ:2.50m

計画建物-3
飼育小屋・温室
計画地盤高さ:T.P.+17.20m
地盤からの最高高さ:2.75m

計画建物-1
校舎
計画地盤高さ:T.P.+17.20m
地盤からの最高高さ:24.90m

計画建物-2
附属棟
計画地盤高さ:T.P.+17.20m
地盤からの最高高さ:4.50m

※解体工事中

2H=49.8m
H:建築物の高さF24.9m



日時:冬至日
投影時間:8:00~16:00(1時間毎)
時刻表示:真太陽時
北緯:36°00'00"
東経:139°45'00"
投影面高さ:各計画建築物の地盤面(計画建物-1:T.P.+17.20m)

※行政協議及び確認申請等により変更が生じる場合があります。
※工事施工者確定後、協議により変更が生じる場合があります。